

下の3つのケースで、株主への残余財産の分配額は皆同じ(分配額は全て100円)。

パターン①

現金	100円	負債	0円
		資本	100円

パターン②

現金	200円	負債	100円
		資本	100円

パターン③

現金	1100円	負債	1000円
		資本	100円

つまり、負債の金額や自己資本比率等は残余財産の分配額とは無関係である。

⇒例えば、転換社債は、転換しようが転換しまいが、
既存株主(転換後の株主以外)への残余財産の分配額は同じと言える。

注:ただし、ここでは転換価額は既存株主の引受価額と同じという前提を置く。

⇒その意味において、転換社債の転換は既存株主の利益に影響を与えないとも言える。
1株当たりの当期純利益額への影響は確かにある(利払いや税効果を考慮すれば)ものの、
清算価値という意味では転換社債の転換は清算価値に影響を与えないと言える。